



第 2761 回例会 No.17

2025 年(令和 7 年)12 月 12 日(金) 晴
「それこそロータリー」

出席報告

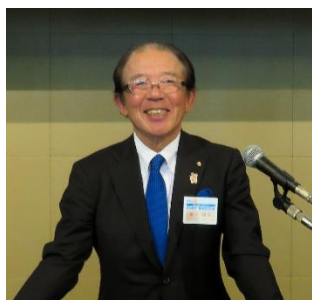
会員 67 名中 51 名 出席率 76.12%

○ゲスト

株式会社鳥居花店 専務取締役 伊東 沙紀様

○スピーカー

第 50 代会長 杉江 豊文さん



皆さんこんにちは、今回も例会に多数出席して頂きありがとうございます。本日のゲストは、伊東沙紀様がお越しいただいております。ごゆっくりお過ごし下さい。

今年度は、我がクラブも創立 60 周年と言う節目の年を迎えております。今日は、10 年前の創立 50 周年を今一度振り返り、創立 60 周年を皆様と共に進んでいく例会にしたいと思います。

先日、青森で震度 6 強の地震が起きました。幸いにも、14 年前の東日本大地震より被害が少なくて良かったです。

我がクラブは東日本大震災の 4 年後の 2015 年 10 月 5 日・6 日の二日間にわたり創立 50 周年 東北復興プロジェクトを、行いました。当時、私は社会奉仕委員長として、このプロジェクトに深く関わらせていただきましたので、自分にとっても思いが深い事業になりました。震災から 4 年。当時の東北には、まだ“時間が止まったまま”の場所が数多く残っていました。

クラブの 50 周年奉仕事業として東北大震災で大きな被害を受けた①仙台湾での海岸防災林再生、②おがつ店こ屋街に花壇設置の 2 事業を名古屋みなと RC、仙台レインボー RC、名古屋中央 RAC 合同で実施しました。東松島市では、津波で流失した 樹齢 120 年の黒松の海岸防災林を再生するため国有林 3400 平方

メートルの土地に、1700 本のクロマツを植林するという作業を開始しました。かなり広大な広さの土地に植林の基本的方法を専門家のご指導を受けながらの作業でした。同時刻に、もう一方の仙台レインボー RC との共同事業のおがつ店こ屋街花壇除幕式が現地で盛大に行われました。雄勝町は人口 4300 名のうち 250 名が犠牲になった地区です。石巻市雄勝病院では、40 名の入院患者全員が命を落とし、医師・看護師の方までも亡くなられた地域です。震災後に町の希望としてつくられたのが、仮設商店街「おがつ店こ屋街」でした。残念ながらこの商店街も 2020 年に閉鎖されています。この創立 50 周年奉仕事業は、我々が肌で感じた素晴らしい奉仕事業であった事は間違いありません。

そして、今年私たちは創立 60 周年を迎えています!!
来年 4 月 21 日の創立 60 周年記念式典の成功!!

創立 60 周年奉仕事業として、3 つの柱の成功!!

- ① 1 月の能登町野地区に布団乾燥機 200 台寄贈。
- ② 来年 3 月頃には港区・中川区奉仕事業として、中川運河をクルーズ船で南下しながら、子供達に中川運河の仕組みと歴史をレクチャーする事業を考えています。

③5 月頃に、能登復興支援事業として、金沢みなと RC との協働事業として、国指定文化財名勝に指定されている、海に面した稲を植える棚田である「白米千枚田」(しろよね せんまいだ)の復興支援を行う予定です

ロータリーの標語である「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」を心に刻み、来年 4 月 21 日の記念式典、そして 60 周年奉仕事業を クラブ一丸となって成功させてまいりましょう。よろしくお願いいたします。





ニコBOX

(本日の例会は、杉江年度の創立 50 周年を振り返り創立 60 周年を皆様と共に進んでいく例会です。宜しくお願いいたします) 室原会長
(ゲストの伊東様、ようこそお越しくださいました。ごゆっくりお楽しみください。杉江さん、卓話よろしくお祈いします) 沼野幹事
(本日、卓話をさせていただきます) 杉江さん
(忘年家族会を楽しみにしています) 栢森さん
(北川先生、コンシェルジュ検診お世話になりました。ありがとうございました) 大矢さん

本日合計	32,000 円
累 計	1,175,266 円

委員会報告

「新入会員オリエンテーションと新入会員勉強会について」

会員増強委員会



委員長 森 真悟さん
皆様に配布した資料に記載のとおり、新入会員、入会予定者向けオリエンテーションのご案内について報告いたします。今回は第 1 回に続き、第 2 回の開催となります。内容は資料のとおりですが、今回は非常に盛り上がったものの、まだ入会に至っていない方も多くいらっしゃいます。そのため、引き続き入会促進を図り、再度ご案内を差し上げたいと考えております。特に重要なのは、皆様からのご紹介です。今回もぜひ多くの方をご推薦いただけますようお願い申し上げます。当日は家庭集会と重なる方もいらっしゃると思いますが、ぜひ新しい方をご推薦いただき、ご参加いただけるようご協力をお願いいたします。

また、クラブラーニング委員会・棚橋委員長より、新入会員向け勉強会を 12 月 26 日に開催いたします。今年度は新入会員が 6 名おりますので、カウンセラーの方も可能であればご参加いただければ幸いです。12 月 26 日の勉強会もよろしくお願いいたします。

また、クラブラーニング委員会・棚橋委員長より、新入会員向け勉強会を 12 月 26 日に開催いたします。今年度は新入会員が 6 名おりますので、カウンセラーの方も可能であればご参加いただければ幸いです。12 月 26 日の勉強会もよろしくお願いいたします。

幹事報告

【掲示物】

・ロータリーの友 2025 年 12 月号掲載記事について

★出欠リスト

・忘年家族会

2

・雀友会忘年会

・家庭集会 E グループ

【地区】

・12 月 11 日(木) 第 5 回地区ラーニング委員会
(出席：寺本さん)

【配布物】

・第 4 回クラブ戦略委員会案内書

・2026 年 1 月 23 日(金) 新入会員・入会予定者のオリエンテーションのご案内

卓話

名古屋みなと R C 創立 60 周年記念例会に向けて
第 50 代会長

杉江 豊文さん



皆様、こんにちは。私は 50 代の会長を拝命していただきました杉江豊文です。職業分類は石油輸送業です。ロータリー歴は 35 年で、先月、室原会長から在籍 35 年の表彰をいただきました。40 歳で入会し、現在 75 歳、後期高齢者となり国民健康保険に切り替えたところ。石油輸送業、運送業を営んでおりますので、また機会があれば詳しくお話ししたいと思います。ちなみに、ガソリンの暫定税率がすべて廃止され、現在は最も安い価格になっている点もご留意ください。

室原年度の 60 周年では、例会は 15 分程度、その後、記念式典と祝賀会という流れになる予定です。これは周年行事の一般的なプログラムです。来賓として、パストガバナー、現ガバナー、西名古屋分区のガバナー補佐、そして名古屋西ロータリークラブの会長・幹事の方々がご越しになります。お迎えにあたっては、滝川クリステルの「おもてなし」ではありませんが、みなとロータリークラブの高潔さ・品格・フレンドリーさを示し、「Your Smile is My Smile」レッツスマイルでお迎えいただきたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、50 年周年のビデオを懐かしく見ながら 50 周年を振り返ります。また新しい方々には、祝賀会の雰囲気もぜひ感じていただきたいと思います。今回は、パートナーの皆様もご招待されると伺っておりますので、60 周年の室原年度を盛り上げるために、皆様にはぜひ思い切り楽しんでいただきたいと思います。

それでは、50 年周年のビデオを懐かしく見ながら 50 周年を振り返ります。また新しい方々には、祝賀会の雰囲気もぜひ感じていただきたいと思います。今回は、パートナーの皆様もご招待されると伺っておりますので、60 周年の室原年度を盛り上げるために、皆様にはぜひ思い切り楽しんでいただきたいと思います。



創立 50 周年記念実行委員長 深谷友尋さん



齊藤直美国際ロータリー理事エレクト



加藤陽一ガバナー



にっぽん丸



名古屋市消防音楽隊

第3回創立60周年記念実行委員会

と き 12月12日(金) 13:40~

ところ 名古屋マリオットアソシアホテル
17階「桐」

出席者 棚橋 室原 寺本 梅田 杉江 芹澤
鈴木 山内 長瀬 水谷 村田 沼野
久留宮 箕浦 橋本(美) 猪子 森

17名(敬称略)

テーマ: Your smile is my smile

「喜ばれることに 喜びを」

1. 会長挨拶(室原)

- ・例会で50周年のVTRを観て、杉江会長の素晴らしい卓話に感銘を受けた。今回は西名古屋分区を中心にゲストにお呼びするので、おもてなしを盛り上げていきたい。特に奉仕事業について本日詳細を詰める形となるため、よろしくお願いしたい

2. 会長エレクト挨拶(猪子)

- ・年内は最後の委員会となり、今年度この大きな事を成功させられるよう、各位のご協力をお願いする

3. 創立60周年記念事業 準備作業進行状況について(寺本)

- ・今回が終わると年明けになるので、特に記念事業について本日決めるべき点も多い。各部会で進捗報告もお願いしたい

4. 記念事業について[寺本・長瀬・森]

a) 町野地区「布団乾燥機」寄贈事業(長瀬)

- ・既に実施が終わっている事業であるため、記念式典当日に周年記念事業の一環として当日発表する

b) 港区・中川区奉仕事業~中川運河クルーズについて~(森)

- ・3月の土・日の3日間のいずれかの日程で1便運行し、親子1組2名ペアを20組招待
- ・クルーズの到着後、名古屋港水族館の見学を予定しており、水族館側でもゲーム要素のあるものとバックヤード(裏方)ツアーを絡めた催しを考えていただいている
- ・対象となるお子様は、中川区・港区エリアの「子ども食堂」を対象とする
- ・当日の記念品としてノートやスケッチブックを手渡す or 食事券を手渡すなど、記憶に残るものも(予算が許せば)提供したい
- ・当日は、上記のプレゼントを手渡し、一緒にイベントに参加して、参加者と時間を過ごしていただく形で、当クラブメンバーにはご協力をお願いしたい

☆日程と時間の確認-内容を「子ども食堂」側と擦り合わせて、早急に枠を押さえる

c) 金沢みなと RC との能登支援事業について(寺本)

- ・「能登支援事業」について、まずここまでの経緯を確認
- ・今般、金沢みなと RC 側から提示していただいた白米千枚田「千の光、千の未来プロジェクト」について審議

[内容]

1. 棚田のオーナー契約(5年間)をすることで、継続的支援体制を構築
2. 道の駅に金沢みなと・名古屋みなと連名での記念碑を設置
3. 棚田に LED を設置し冬季の集客を図る「あぜのきらめき」事業を支援
4. 町野地区再生のため「千本桜プロジェクト」への苗

木寄贈

・このプロジェクトについて、【記念事業として実施することに決定】し、先方との調整に入ることとする

5. 記念式典について [山内・橋本(美)]

a) 案内について

⇒ メールで来賓には連絡済み、1 月中に案内状を作成して来賓に送付する

b) 今後のスケジュールについて

⇒ 年明けからあまり時間が無いので、適宜確認しながら進めていく

6. 記念誌について [村田・棚橋]

・見開 A 4 - 片側 A 5 サイズにて「台割(ページ構成)をする

・歴代会長の年度記録については、入稿済み

・5 月の能登記念事業の訪問時の写真と記録を掲載して、6 月中には発行したい

・物故者の紹介については、スクリーンで前方に提示し、黙祷する形を取る

8. 副会長挨拶(鈴木)

・どんどん煮詰まってきた。この事業のことも念頭に置いた上で、(卓話でもあった通り)交通事故に気をつけて、各位よき新年をお迎えいただきたい

※次回 第 4 回 会議予定:

2026 年 2 月 27 日(金) 13:40~

3 次期地区米山記念奨学委員長セミナー開催

2026-27 年度地区米山記念奨学委員長を対象とする第 1 回セミナーを 12 月 1 日、都内ホテルで開催しました。

午前の部は、若林紀男理事長の挨拶、神野重行常務理事の講話から始まり、事務局から学務・学友関連について説明。そして、危機管理につ



いて吉田知弘常務理事からお話しいただいた後、事例発表として、第 2650 地区の片山隆永委員長から年間の流れや危機管理対応等について発表していただきました。

午後の部では、事務局から広報、寄付について説明。続いて第 2700 地区の事例発表として、尾畑和隆次期委員長より寄付増進の取り組みについてご紹介いただきました。その後 4 グループに分かれて各地区における課題などについてのディスカッションと各グループからの報告が行われ、質疑応答を経て、井原貴副理事長の講評で締めくくられました。

4 来年の年賀状は学友がデザイン

当財団では、評議員、理事、監事、専門委員、地区米山記念奨学委員長、米山奨学生、日本在住の米山学友などへ毎年賀状を送っています。

今年となる 2026 年の年賀状は、女子美術大学美術専攻洋画研究領域博士課程を修了した中国出身の米山学友、査斐婷さん(2022-24/相模原南 R C)のデザインです。お手元に年賀状が届いた方は、じっくりとご覧ください。



＜ 査斐婷さんより ＞

縁起の良い動物である馬と、私の創作テーマである反転した猫の顔を融合させた作品です。「成功」や「飛躍」を象徴する馬に、視点を反転させる猫の要素を加え、新たな一年に向けてお世話になった方々と新しい学生たちへ、感謝と応援の気持ちを込めました。「2026」の数字は、巳年の蛇をモチーフにし、巳年から午年へのバトンタッチを表現しています。

上海米山学友会 総会開催のご案内

◇2026 年 1 月 17 日(土) 16:30~20:30

◇会場: 上海市内(申込終了後決定)

◇申込先: alumni@rotary-yoneyama.or.jp

※12/24(水)申込締切

【要記載事項】代表者氏名、その他参加者氏名(全員分)、クラブ名、連絡先(メールおよび電話番号)

米山学友と密着

ホームカミング制度をご活用ください

活躍する米山学友を各地区が毎年度上限 2 人までを選び、地区の行事に招待して、地区内のロータリアンへその活躍ぶりを披露していただく制度です。米山奨学事業の意義を広めるとともに、学友との絆を深める制度としてご活用ください。国内在住の学友は 25 万円、海外在住の学友は 35 万円を上限に、補助いたします。

詳細はこちら



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F

Tel: 03-3434-8681 Fax: 03-3578-8281

E-mail: highlight@rotary-yoneyama.or.jp

URL: https://www.rotary-yoneyama.or.jp/

編集担当: 長尾(なお)



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

vol. 309
2025 年 12 月 12 日
発行

1 世話クラブに入会 — 受けた恩を次世代に —

24,000 人を超えた米山学友の中には、ロータリークラブに入会し、積極的に奉仕活動を行う学友がいます。今回は、そのひとりである金相均さん(韓国/2011-13/静岡 R C)に、これまでの歩みと想いを語っていただきました。

— 米山奨学生時代を振り返って
多くの方々に温かく支えていただきました。例会参加を通じて、日本の文化や価値観に触れる中で、「与えられる側から社会へ返す側へ」という心構えを学びました。奉仕の精神に触れ、私も誰かのために行動したいと強く感じました。

— ロータリークラブ入会から現在まで
受けたご支援への恩返りを形にしたいと考え、会社員から個人事業主となった際に「子どもの未来を守り、無限の可能性を広げる」という理念を掲げました。そこで、社会貢献への思い、自分自身を成長させたいという願いが重なり、世話クラブである静岡 R C に入会しました。現在は例会や奉仕活動、卓話などに積極的に参加しています。

— 米山奨学事業に対する景色の変化
奨学生時代から大きく変わりました。当時は「支援していただく側」という意識でしたが、



会員になると、あの頃には見えなかった多くの努力を目の当たりにしました。奨学生の選考、世話クラブの準備など、奨学生のために動いている姿を知り、事業の重みと尊さを改めて感じました。今では「支援を受けた経験を次世代につなぐこと」を意識し、活動しています。

— 米山学友のロータリー会員として
奨学生に寄り添い、相談しやすい先輩であること。寄付は義務ではなく「未来への投資」と伝えること。奨学事業の力を自ら体現することを大切にしています。今後は「国際理解と友情の架け橋になること」を目標に、奉仕プロジェクトにも主体的に関わり、地域と世界のために行動できる会員を目指していきます。子どもの未来を守る活動にも力を入れていきたいと考えています。

2 寄付金速報 — 12 月の送金はお早めに —

11 月までの寄付金は、前年同期と比べて 6.9% 減(普通寄付金:1.5%減、特別寄付金:9.5%減)、約 4,500 万円の減少となりました。

した。当月は匿名を含め 7 件の大口寄付がありました。今年も残すところ半月ほどですが、12 月 30 日までに当会口座に着金した特別寄付金については、来月 1 月末日までに各クラブ宛に確定申告用領収証を発送します。年内お早目に送金くださいますようお願いいたします。

申告用領収書は来月 1 月にお送りします

ロータリー米山記念奨学会へのご寄付は税制優遇を受けることができ、「税額控除」か「所得控除」いずれか有利な方式を選択できます。今年 1~12 月に寄付をした方には、来月 1 月末日までに申告用領収書をクラブ経由でお送りします。12 月 30 日(火) 当会着金分までが対象

